

保健師ら2人タイへ

AMDA 水害支援に出発

タイの洪水被害に対する緊急支援活動のため国際医療救援団体「AMDA」（本部・北区）の看護師で保健師の武田未央さん（37）と現地で調整役を務める大政朋子さん（39）の2人は14日、バンコクに向けて出発した。武田さんらは、派遣される日本人医師と合流して、7～10日間の予定で活動する。

武田さんは「タイは日本人も多く、水害被害が拡大しているのが心配です。現地の医師らと協力して被災者の救援に頑張ります」、大政さんは「現地では薬品や食料などの物資が不足している。何とか物資をバンコクなどで確保して避難所に届けたい」などと話していた。

【小園長治】



支援活動などについて語る大政さん（左）と武田さん
—JR 岡山駅で